



第12号
 誇りある国づくりをめざす北海道のオピニオン誌
北海道の息吹
 12
 令和6年3月

札幌 円山公園

建国記念の日奉祝道民の集い

■令和5年2月11日(土・祝)
 ■ロイトン札幌ロイトンホール



来場者自身が「建国記念の日」について考える時間を設け、祝日が制定された経緯を解説した有村参議院議員。



武漢ウイルス禍で開催が中止されていた建国式典が3年ぶりに開催されました。参加者は約250名。主催者あいさつに続き、来賓の高木宏寿自民党札幌連会長から祝辞があり、続いて初代女性活躍担当大臣を務め、保守政治家として活躍されている有村治子参議院議員(全国比例)が講演されました。

演題は「日本の守るべき価値を守るために」。「建国記念日がなぜ2月11日なのか、なぜ『建国記念日』ではないのか、子供から聞かれたときにきちんと答えることはなかなか難しい。国のはじまりはどの国でも最も大事な祝日である

のに、日本においてはそのことが国民の間で共有されていない」と指摘。「戦後日本では国について考える機会がなくなったが、子供たちには自国のことに関心を持つように教えたい。国を守ってくれる人々が心置きなく誇りを発揮できるように、憲法においても『自分の国は自分で守る』ということを書き上げ、国の確かな力にしていきたい」と熱く語られました。

第二部では会場のロイトン札幌から大通西6丁目まで、約150名で日の丸小旗を振りながら、奉祝パレードを行いました。

追悼



建国式典では長年にわたり詩吟を吟じられた、日本会議北海道本部理事の有馬郁文氏(不二歌道会聯合会事務局長)が12月4日交通事故で急逝されました(享年97歳)。謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、長年にわたり本部の活動にご尽力いただきましたこと心から感謝申し上げます。



美しい日本の憲法をつくる 道民の集い

令和5年5月3日（憲法記念日）
かである27 大会議室

ウクライナ侵略は対岸の火事ではない!
ウクライナ人評論家が警鐘!

「美しい日本の憲法をつくる道民の会」と「日本女性の会北海道」共催による特別講演会が開催され、ウクライナ人の政治評論家ナザレンコ・アンドリー氏が講演しました。

アンドリー氏は、ロシアの猛攻を受けたウクライナ東部のハルキウ生まれの28歳。ロシア連邦議会元上院議長が「ロシアは北海道に対して権利を持つ」といった趣旨の発言をうけて、「隣国を挑発しなければ侵略されないと思っている人がいるが、領土拡大を目指す国は住民保護など、もつともらしい理由をこじつけて侵略してくる」と指摘。「ウクライナ侵略をするときに使った言い訳はそのまま日本（北海道）にも使える。ウクライナで現在進行形で起きていることは決して日本と無関係ではない」と警鐘を鳴らしました。

さらに今日本が置かれている危険な状況を踏まえつつ、「世界の平和を守るためにも日本を強くすることが必要だ」として防衛力強化の必要性を強く訴えました。



憲法記念日翌日に開催された、「日本女性の会」主催の講演会に参加した同メンバー。写真中央はナザレンコ氏、その右は「日本女性の会」浅井洋子会長。

このときの講演会が好評につき、10月23日に「日本女性の会北海道」主催により、再度ナザレンコ氏を講師にお迎えして、かである27大会議室において、第2弾の講演会を開催しました。同日夜には旭川において、同氏の特別講演会が開催されました。詳しくは次ページをご覧ください。

旭川初

ナザレンコ氏特別講演会

ロシアによるウクライナ侵攻の

最新情報と北海道への影響

令和5年10月23日(月)
アートホテル旭川

主催：日本会議上川協議会

共催：旭川隊友会・(財)旭川道徳教

育振興会・旭川モラロジー経

済同友会・新しい歴史教科書

をつくる会道北支部・日本女

性の会上川

後援：旭川モラロジー事務所



旭川初となるナザレンコ氏の講演会は、予想をはるかに上回る260名の来場者で会場は超満員になりました。講演では、ロシアの軍事進攻の背景や最新の戦況・プロパガンダについて、さらには北海道への影響など、普段聞くことのできない真実を拝聴することのできた貴重な機会となりました。

参加者へのアンケートでは、「植民地になるくらいなら……」と民主主義を貫かねばならないと強い意志を感じられた方や、「今の日本は平和ボケを通り越している」といった感想など多くの意見が寄せられました。

令和5年定期総会開催

令和5年6月24日(土)

札幌アパホテル

3年振りに定期総会が開催されました。参加者はこれまでで最多の53名でした。冒頭、来賓の高木衆議院議員のあいさつから始まりました。武漢ウイルス禍で主だった活動ができないなかでも、感染対策をした小規模な活動などがあり、丸谷常務理事から令和4年までの主な活動報告がありました。

北海道本部では委員会制度を設け、委員会ごとに数人のメンバーで活動を行っています。委員会は左記の通りです。

- ① 固定事業企画実行委員会
- ② 憲法改正推進委員会
※詳しくは4ページ参照
- ③ 慰安婦パネル委員会
- ④ 北海道博物館展示検証委員会
- ⑤ 北海道百年記念塔委員会
- ⑥ 道史編纂委員会
- ⑦ 街宣委員会
- ⑧ I-T委員会
- ⑨ 「女性の会」との連携委員会



札幌近郊の会員の方で興味のある方がいらつしやいましたら本部事務局までお問い合わせください。一緒に活動しませんか。

その次に、昨春の統一地方選挙で日本会議の役員から札幌市議会議員に3名が当選しましたので、3名(1名欠席)から当選報告がありました。詳しくは7ページをご覧ください。

そして最後に参加者との意見交換会があり、活動方針などについて意見が交わされました。第2部

は、DVD上映会があり、「今そこにある危機と自衛隊」を観賞し総会を終了しました。

総会終了後は同ホテル地下で懇親会があり多くの皆さんが参加して親睦を深めました。

憲法改正 推進委員会 からの報告

令和5年3月10日(金)、当委員会はチカホ(JR札幌駅から地下鉄大通駅までの地下歩行空間)において、初めて憲法に関するパネル展を実施しました。

これまでは、チカホにおいての活動は、政治的催しは不可と認識していましたが、憲法改正に反対するグループがパネル展を実施していたのを見て、実行可能と判断し行いました。



テレビ番組のタイトルを模しました。結果は、平日であったこともあり、素通りする人が大半で、憲法について関心の低さを実感しました。

「衆議院議員憲法審査会」においても少しずつ動きがみられ、更には令和6年5月30日に「国民の命と生活を守る武道具1万人大会(詳細7ページ参照)」が予定され、憲法改正への動きが少しずつ高まりつつある現状を踏まえ、我々の活動を活性化させようとう準備中です。4月14日(日)に再度チカホにおいて「憲法改正を推めるパネル展」を開催予定です。この件について興味のある方は事務局までご連絡ください。どうか一緒に憲法改正に向け活動をすすめていきませんか!

初の試みにつき、我々が考えている思いを発するのではなく、まず今までに公式に表現されている事項を見て頂き感触を確かめたいと、パネルを10枚を作成しました。パネル展のキャッチフレーズも「憲法どうでしょう!!」と人気が

(憲法改正推進委員会委員長
常任理事・相馬孝義)

早志会 高市早苗さんを内閣総理大臣にする会の活動について



さて、前回(令和3年)の自民党総裁選で立候補者のうち高市早苗候補が掲げた政策こそが日本の守るべき国益にかなうものであります。最も実効性を有するものであり、強く共感し、令和3年10月より支援組織を立ち上げ準備に入りました。その後令和4年5月21日の設立総会を経て活動をスタートさせ今に至っております。(高市早苗さんの支援は15年にわたって

個人的に交誼を頂いている、「日本会議国会議員の会」初代会長平沼赳夫先生の意向でもあります。)

わが国の誇るべき伝統や国家の品格・名誉を守りつつ、外交・防衛・経済・教育に對しその凛とした識見と実行力を発揮できうるリーダーは高市早苗さんをお願いいたします。

子孫たちに希望の持てる日本を残していくためにも、日本会議の皆さんはじめ志を同じくする方々と引き続き連携し、取り巻く困難を乗り越えていかななくてはなりません。



早志会北海道
専務理事 西内 吾朗

恵庭支部だより



井上和彦氏講演会

令和5年11月12日(日)、千歳支部との合同でテレビ出演などでお馴染みのジャーナリスト井上和彦氏を招聘し、「井上和彦氏恵庭特別講演会」を開催しました。

演題は、知られざる感動秘話「北海道を守った先人の物語」。会場には衆議院議員防衛大臣補佐官の和田義明代議士、北海道議会議員恵庭選出の田中義徳道議、早坂貴敏道議、同千歳選出の太田憲之道議、ほか恵庭市・千歳市選出の各市議会議員の先生方、また遠くは札幌市や長沼町からもご来場いた



いただきました。参加者は149名でした。

みなさんは井上先生の史実に基づいた話に耳を傾け、約2時間の講演を熱心に拝聴していました。

参加者からは「来てよかった」「真実を知ることができた」「素晴らしい話に感動した」「このような講演をまたやってくれ！」等多くのうれしい感想を頂くことができました。講演後、懇親会を行いました。井上先生と親しく会話していただき、先生と身近で親しく懇談できたことに出席者全員感激していました。

「成人の日」に 日の丸を配布

日本会議恵庭支部では、令和6年1月7日(日)午後1時から約1時間、恵庭市が主催する「恵庭市はたちのつどい」に参加する新成人者に対して、「日の丸小旗」を配布しました。

昨年までコロナ感染防止のため午前・午後の2回に分けての頒布



を実施していましたが、今年は全成人者を一同に集め午後1回のみの実施となりました。寒風吹きすさぶ中、宮利徳支部長(恵庭市議会議員)以下8名のスタッフと恵庭市議会議員2名(川俣一市議、前田孝雄市議)の自発的応援を頂き、恵庭市新成人者、約800名と式典に参加した約530名に準備した小旗を一人一人に「成人おめでとう！」と声かけしながら小旗を配布しました。

(恵庭支部
事務局長 梶原榮利)

「道内8番目の「寿都支部」設立！」

数年前、日本会議北海道本部の中濱常任理事と名刺交換をさせて頂く機会がありました。その時、任意団体の私ども「寿都町観光クラブ」のメンバーが日本会議について詳細を伺いました。中濱さんから説明を伺って、われわれと意を同じくする団体ということが分かりました。そしてわが町にも支部を設立したいと数名の者から声があり、支部設立条件をお聞きしました。すると5名以上の会員がいれば良いとのこと。そこで私をはじめ6名の方に呼び掛け、令和5年5月29日



斎藤支部長(写真中央)と支部役員6名、札幌から参加した4名。



寿都支部設立のはこびとなりました。

もトップクラスの温泉と高い評価を受けています。一人でも多く会員を増やし支部活動を進めていきたいと思えます。
(日本会議寿都支部 支部長 斎藤 捷司)

私は日本が国難に直面したとき『大楠公は復活する』と思っています。



杉本 正志 さん

自己紹介

杉本正志です。福岡県生まれの40歳です。令和5年9月に仕事の関係で札幌に参りました。

活動のきっかけ

3年ほど前、仕事の関係で広島に任んでおりました。その際に日本会議広島青年部の方から『若手だけのウェブミーティングに参加しませんか?』とのお誘いをいただき、参加させて頂いたことが、今日私が活動するようになったきっかけです。

好きな言葉

私には折に触れて読み返す漢詩があります。
三国時代の曹操が詠んだもので

『歩出夏門行』といえます。詩の全文も良いのですが、私は特に次の一節が好きです。『老驥伏櫪志在千里烈士暮年壯心不已』(老いた馬は櫪に伏しているけれども、その志は千里の彼方を駆け巡っている烈士は年老いたからといって、その壮大な心が已むことはない)いつまでも情熱を忘れることなくありたいものです。

尊敬するひと

尊敬する人はたくさんいますが、特に大楠公(楠木正成公)と吉田松陰先生です。日本人の歴史と精神に大きく影響を与えたお二人です。

私は、日本が国難に直面したとき『大楠公は復活する』と思っています。もちろん本当に大楠公が蘇るといふことではなく、公の魂を引き継いだ人が現れるという意味です。

松陰先生もその一人だと私は思っています。



ちょっとここでコーヒープレイク



あなたはいくつ読めますか？

北海道難解地名

- | | | | | | | | |
|-------|------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
| ⑧ 分遺瀨 | ⑦ 穂香 | ⑥ 馬主来 | ⑤ 重蘭窮 | ④ 老者舞 | ③ 知方学 | ② 濃昼 | ① 入境学 |
| ⑩ 富武士 | ⑨ 咲来 | ⑧ 留久 | ⑦ 軍川 | ⑥ 発足 | ⑤ 送毛 | ④ 稀府 | ③ 对雁 |
| | | | ②① 雨紛 | ①② 片無去 | ③④ 白人 | ⑤⑥ 生花苗 | |

超難解といわれているのが⑤です

※正解は8ページをご覧ください

祝 札幌市議選において 日本会議の役員3名当選!



当選された前列右から坂元倫孝氏、川田ただひさ氏、山田洋総氏

昨春行われた統一地方選挙札幌市議会議員選挙において、川田ただひさ氏（自民党・豊平区）、坂元倫孝氏（維新の会・豊平区）、山田洋総氏（自民党・清田区）がめでたく当選されました。川田氏は4期目、坂元氏はIT企業社長で2回目の挑戦、山田氏は元自衛官で初挑戦での当選になります。日本会議の仲間が市議会議員になることにより、我々の思いを市政の場に生かしてもらえよう期待は大きくふくらみます。写真は、令和5年4月25日に開催された祝勝会の模様です。



憲法に自衛隊と緊急事態を明記する
国会発議を実現しよう!

国民の命と生活を守る 武道館1万人大会 (仮称)

日時：令和6年5月30日(木)午後3時より

会場：東京・日本武道館 東京都千代田区北の丸公園 2-3
東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線
「九段下」2番出口 徒歩5分

ロシア、中国、北朝鮮など力による現状変更を強要する国に隣接した日本は、かつてない脅威に直面しています。

岸田内閣は、「防衛3文書」を改定し防衛政策を大転換しましたが、それを実行あらしめるため自衛隊の憲法明記の必要性が提唱されています。

内外から迫りくる国難に打ち勝つため、国民の命と生活を守る法整備を急がなければなりません。私共はこの度、憲法審査会が議論を加速して憲法改正原案を作成し、速やかな国民投票の実現を要望して「武道館1万人大会」を開催いたします。皆様のご参加を心からお願い申し上げます。

内容：政府代表・各党代表による挨拶、有識者・医療界・経済界など各界、代表からの提言、憲法改正の国会発議へ向けた提唱
参加者：国会議員、地方議員、医療界・経済界・防災・福祉・各種団体より
主催：「国民の命と生活を守る武道館1万人大会」実行委員会

[大会お問い合わせ] 「美しい日本の憲法をつくる国民の会」事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-2 朝日ビル4F TEL.03-5213-4323 FAX.03-5212-7201

令

和6年元日、能登半島が大地震に見舞われた。コロナ後：変わらぬ日常が取り戻されるはずだったが、なんと不条理なことか。復興には地理的要因も重なって困難が待ち受ける。私たちには同胞の痛みを共有し、可能な範囲で義援金を提供することぐらいしかできないが、どうか希望ある日々を取り戻されるよう願わずにいられない。

さて、国家国民の安全保障をどうするか。昨今、敵国から自国を守る伝統的安全保障に加え、防災安全保障なる概念が語られている。戦争も自然も程度問題ながら被る被害は変わらない。所以が自然か人か、あるいは天災か人災かという点で違いがある。災害大国の日本だが、確かに地震・津波は季節を問わず、夏・秋は台風・豪雨・洪水・土砂崩れ、冬は豪雪とキリがない。日本の災禍は歴史を証人とするが、例えば近年の地震をみても阪神淡路(1995年)、東日本(2011

年)、熊本(2016年)、北海道胆振東部(2018年)：はなお記憶に鮮明だ。しかし天変地異は不可避で不可抗力なものだが、その脅威を避け、減災し、防災することは人為として可能だろう。そこに怠慢であるとき天災は人災へと趣を変え、天災のほとんどは人災と言われるが、かくて防災安全保障論議のなりゆきとなる。

も厳しい安全保障環境にあるといわれる。ところが現下の日本に危機意識はあるかといえれば実に心許ない。大衆社会の担い手テレビは、連日のようにジャニーズ、お笑いタレントの性加害問題を垂れ流す始末だ。国際問題や政治ニュースと同列にである。一体この下世話な話は何ほどの価値があるのか。過去に「テレビに至っては、紙芝



では、一方の国家同士の安全保障問題ではどうか。戦争こそは人災の最たるもの。その惨禍が災禍と相似するのも前記のとおり。しかし、天災との違いは戦争勃発を含む全てが人為的であるということとだ。コロナ騒動に加え、ウクライナやイスラエル問題、隣国の弾道ミサイル、中国の動向：世界は混乱の様相を呈し、日本は戦後最

居同様、否、紙芝居以下の白痴番組が毎日ずらりと列んでいる」と喝破したのは故大宅壮一氏(評論家)だった。かりにも一部視聴者が見事飼い慣らされたとしたら、なんと空しいことか。我が国の安全保障論議は、結局は憲法に行き着くが、現下の政治状況と世相にあつては、国民的関心事になる期待も萎える一方と言わざるを得ない。

た、それでも一縷の望みがないわけでもない。「生まれ変わったって日本人になりたいか」との問いに約9割弱が肯定というアンケート調査がある。一旦緩急あれば民族の誇りと責任を持って立ち上がるのが日本人の特性。そう思ってきたが、折しも能登地震の翌日、JAL機と海保機衝突事故にその一端を見ることができた。海保の被害は痛ましいが、乗客・クルーは全員脱出、世界は羽田の奇跡と賞賛した。事故も人災だが、日本の精神文化を纏ったクルーと乗客の存在、そして何よりも日々の備えと訓練の重要性：この出来事は多くの教訓と学びを残した。天災は忘れた頃にやってくるし、人災はいつでもやってくる。そう心得ておけば、個人から国家に至るまで、相応に取り組むべき課題は明らかで、もはやここで明示する必要さえないであろう。

7ページの答え ①にこまない(釧路町) ②ごきびる(石狩市) ③ちっぽまない(釧路町) ④おしやまつぶ(釧路町) ⑤ちぶらんけうし(釧路町) ⑥ぼしくる(白糠町) ⑦ほにおい(根室市) ⑧わかちやらせ(釧路町) ⑨ついしかり(江別市) ⑩まれつぷ(伊達市) ⑪おくりげ(石狩市) ⑫はったり(石狩市) ⑬いっさか(七飯町) ⑭るうく(新十津川町) ⑮さつくる(音威子府村) ⑯とつぷし(佐呂間町) ⑰おいかまない(大樹町) ⑱ちろつと(幕別町) ⑲かたむざり(厚岸町) ⑳うぶん(旭川市)